

ATTACK ON TITAN UN OFFICIAL FAN BOOK

GRAND MARNIER PLANET

グラント・マルニエ・プラネット



LEVI x EREN

ADULT ONLY



12月

雪に変わりそうな雨が降る日
昔話になつた夫婦を見送つた



ケニーの仕事が落ち着き
俺もケニーの元に戻つた数年後
子供が生まれたそうだが



あいつか…

俺がケニーに引き取られたのと
同じくらいの歳だな

まともな家庭に
引き取られるといいが…

あんな小さえ子供を残して
逝くことねえのに



大學卒業後
ケニーの会社の
関連会社に就職したが

5年前エルヴィンが役員を
務めるこの会社に引き抜きされ
精銳部隊の部長という
ポストに就いている

残業、出張、毎日適当に
出来合いの飯を食つて
たまの休日は掃除三昧
結婚の予定も無ければ
する気もない

ただ一つ
人には言えない
時間の過ごし方がある

まあ
言つても誰も
信じねえだろうがな



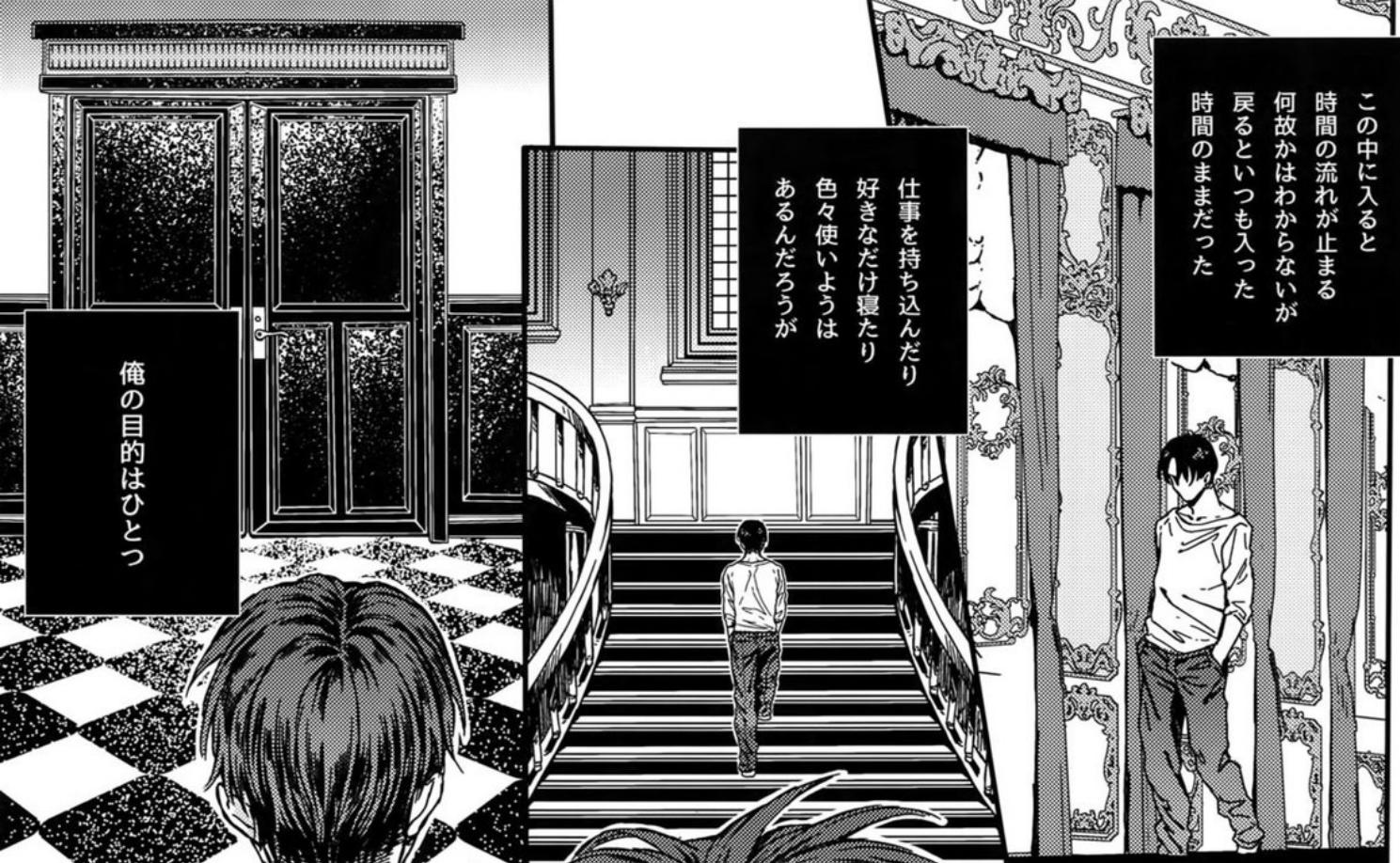




この中に入ると
時間の流れが止まる
何故かはわからないが
戻るといつも入った
時間のままだった

俺の目的はひとつ

仕事を持ち込んだり
好きなだけ寝たり
色々使いようは
あるんだろうが



キング!!

こいつに会うためだ

まあ
毎回なにかしらゲームをして
軽く世間話をして終いだ

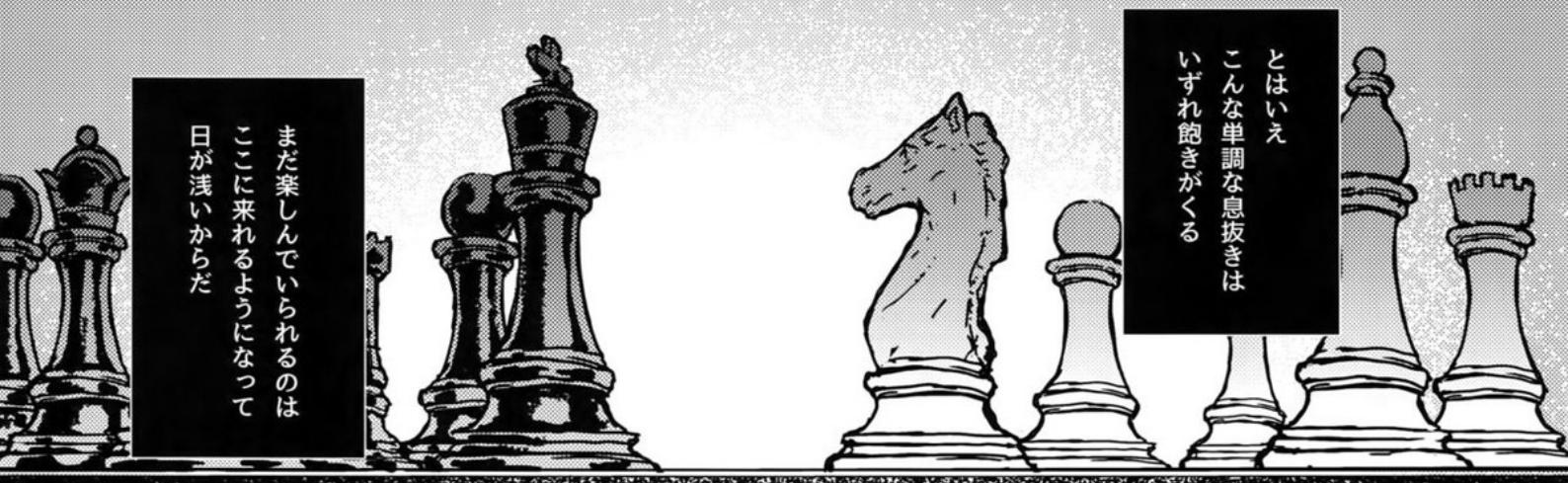
時間が進まないからか
現実世界でマイナスになる
要素がないので
軽い息抜きだと思っている

この世界がなんなのか
こいつが何者なのか
何故俺のことをキングと呼ぶのか
聞いてもはぐらかされるし
探つてもボロを出さない

今日はなんの
ゲームします?

チエス

オッケー
お茶入れますね



まだ楽しんでいられるのは
ここに来れるようになつて
日が浅いからだ

とはいえ
こんな単調な息抜きは
いずれ飽きがくる



シャワーだけでも浴びて

めし…





キング

おい
なんだお前は
ここはどこだ

ここは俺の屋敷
俺のことは時機にわかるかと

俺
ここですずっと
貴方を待つてました

シーツはばつちり
洗い立てです

廊下で倒れていたので
ここまで運びました
ちなみにそれは俺のベッド

どうしても
お願いしたいことがあって…

どこかで
会つたことあるのか？

すまねえが
まるで心当たりがねえ

俺 俺ね
そっちは持つて行き忘れた
モノがあつて
貴方から渡してもらえませんか？

鍵？誰に渡せばいい？
俺の知ってる奴か？

いや待て
状況が全く掴めてねえ今

やれる余裕はねえぞ
人の頼みごとなんて聞いて

今はいいんです
聞いてくれるだけで
また会えますから

ええ
もうすぐ会える人です

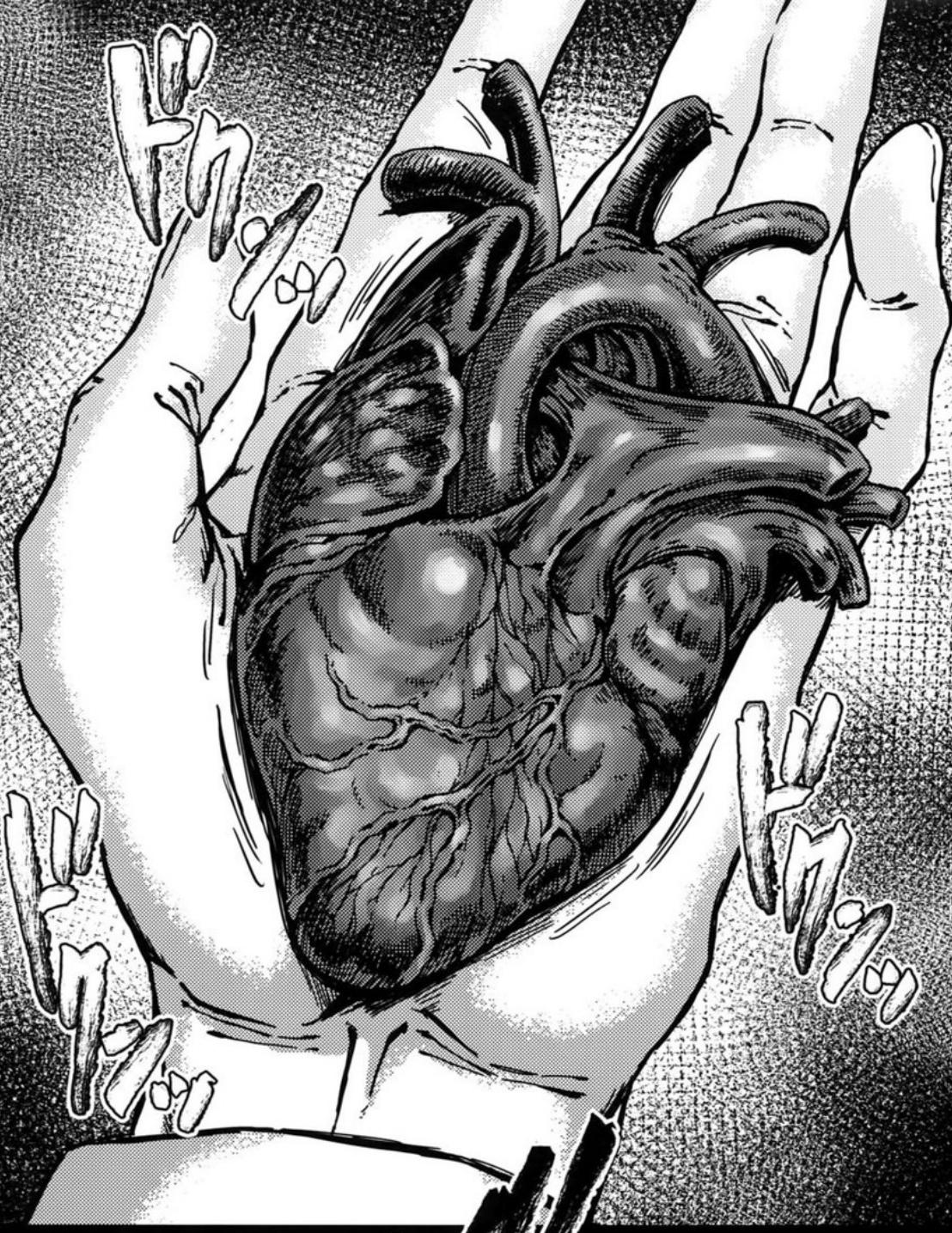
おねがい

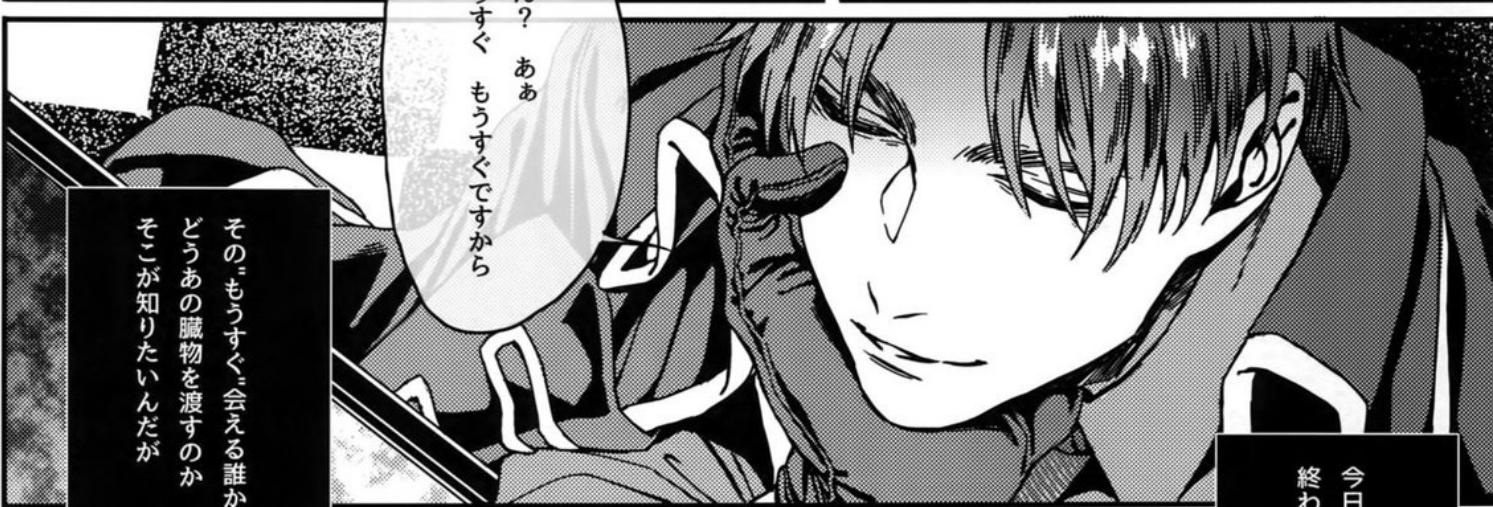
ア"シ"…

しますね…

シ"ルシ"…

アキラ
モモ

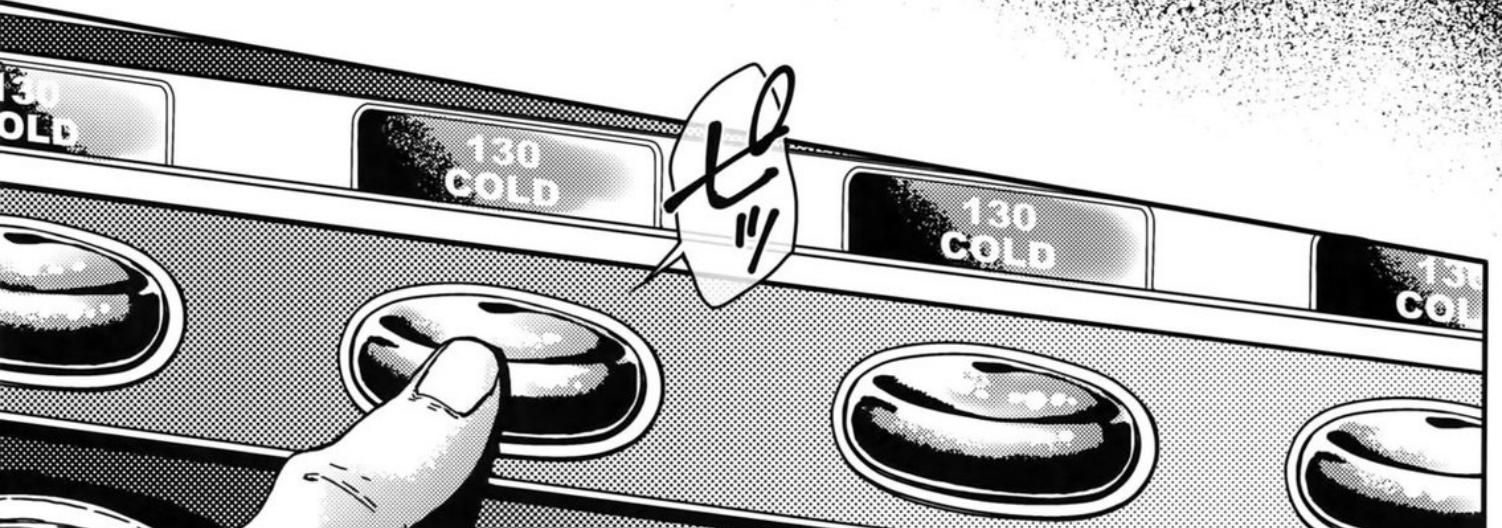




その「もうすぐ」会える誰かに
どうあの贋物を渡すのか
そこが知りたいんだが

今日もきっとこのゲームが
終わればお開きになるだろう















境遇と年頃を考えると
ある程度の衝突は覚悟していたが
エレンは驚くほど従順だった



いや 作るのが面倒なだけ
外では食つたり
食わなかつたりだ
正直ありがてえ

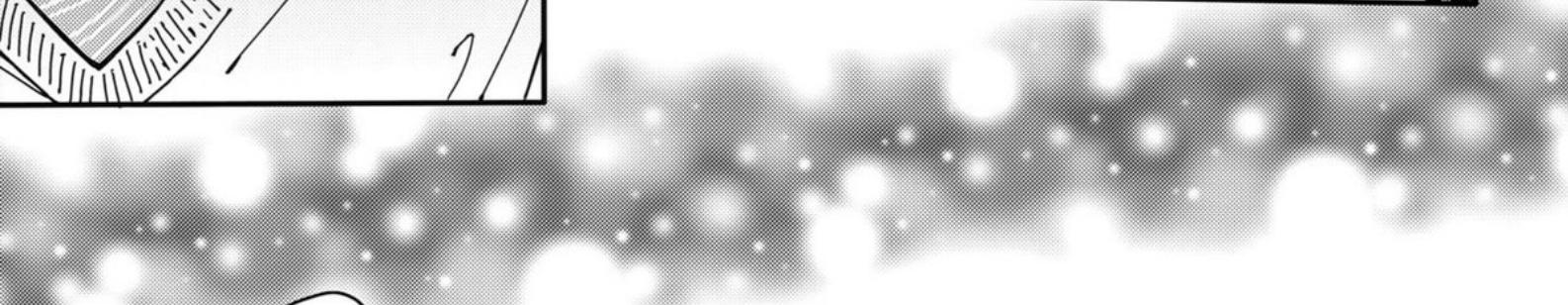
もしかして
いつも外で食べてます?
あの 無理して食べ
なくとも大丈夫なんで…

なんで謝る
家で朝食なんて久しぶりだな

いつも出来合いの
ものばかり
食べてるみたいだから
あの
勝手にして
ごめんなさい

おはよう
作ったのか?

おはよう
ございます。









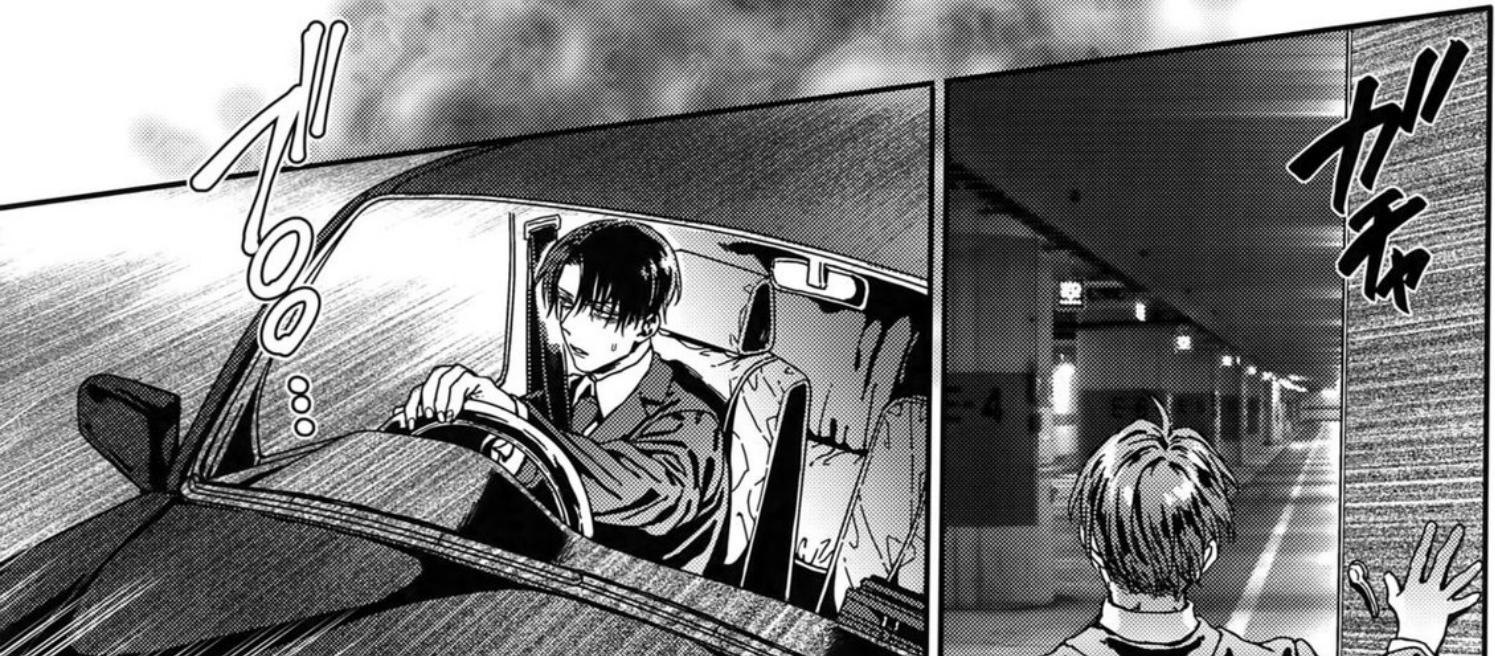
少し欲が無さ過ぎるが
時間が経てば遠慮もなくなつて
くるだろうと
順調に2人の生活スタイルを
作り上げていつてはいた

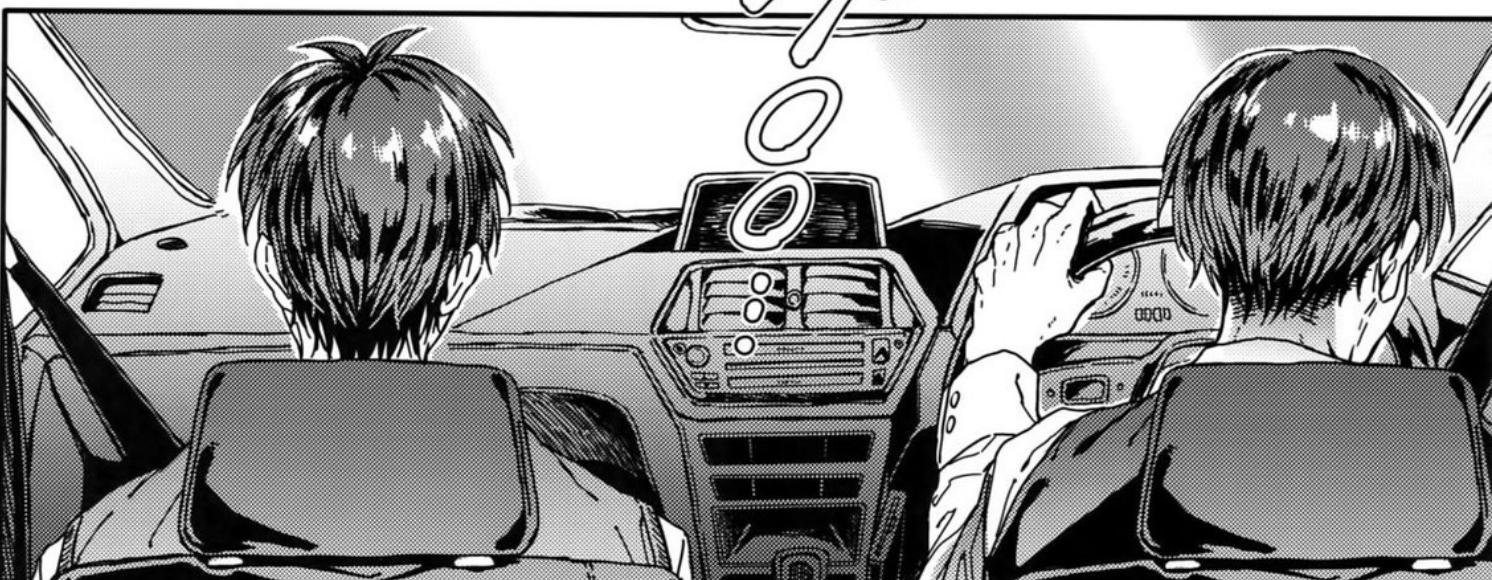


はあ…



エレンが喧嘩をした









放課後部活とか
友達と遊びに行くとかあるだろ

そういうの
いらないので
いいんです



エレン
もう少し
話さねえか

色々こう…心の内のことによ
ぼつと出のおっさん相手には
話し辛えかもしねえが

あの
たまには外食とか
したい時もあるでしょ
うし
そんな無理して俺の作った
食事食べなくても大丈夫ですよ

…なんでそうなる…

はあ
腹へつてちゃろくに
頭回んねえな

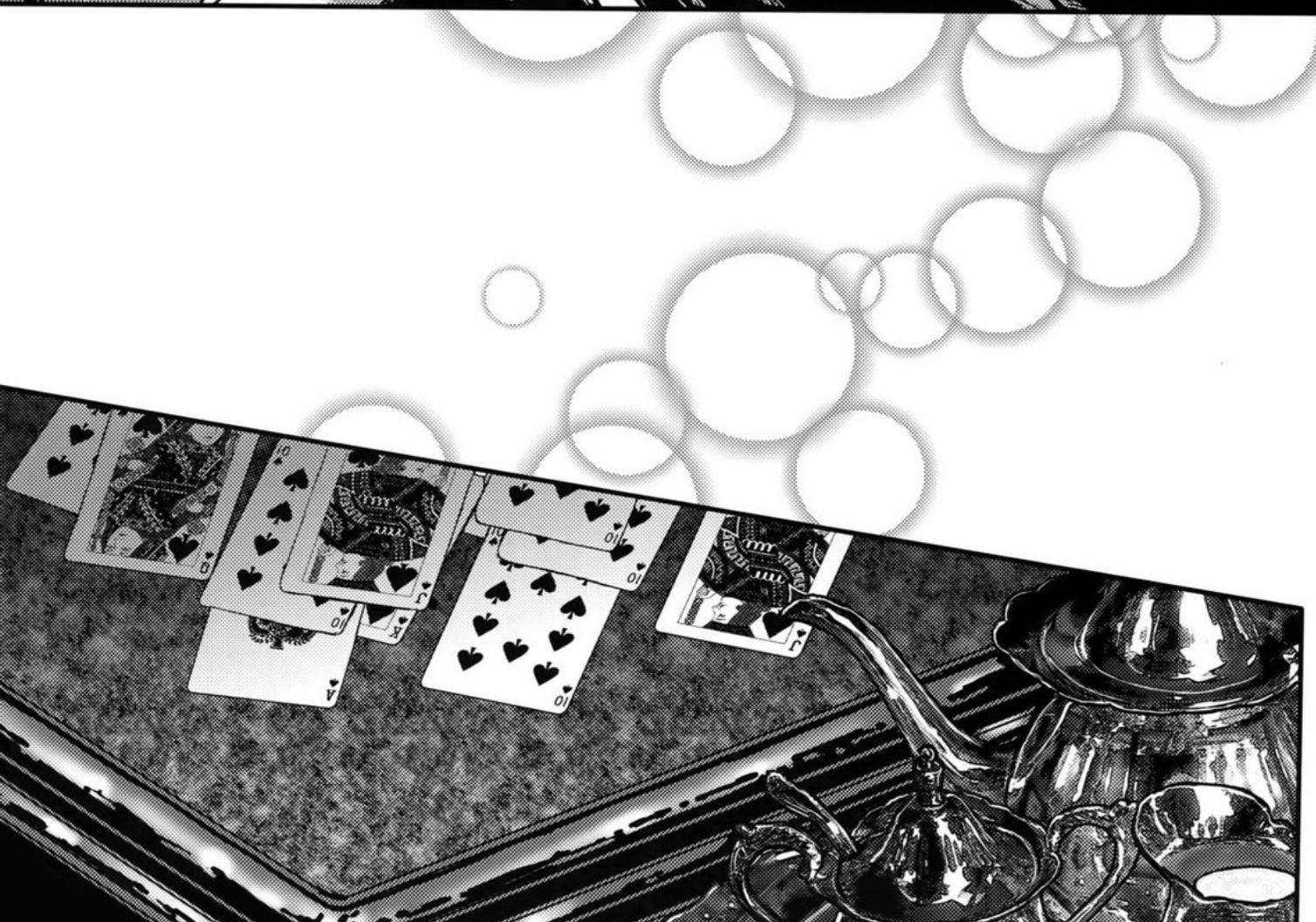
飯食うぞ 飯

110
不

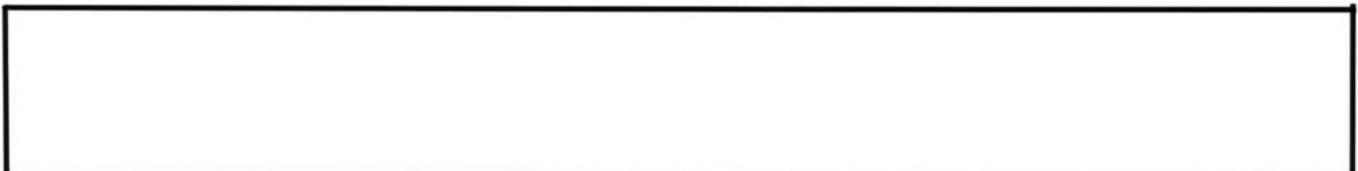




聞いちゃいねえな…



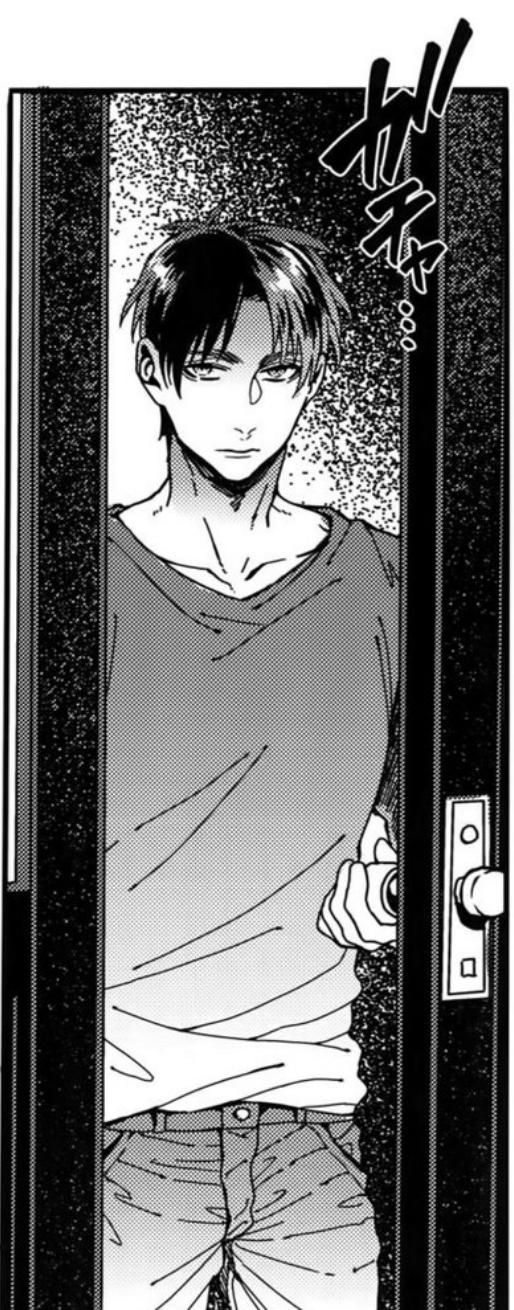




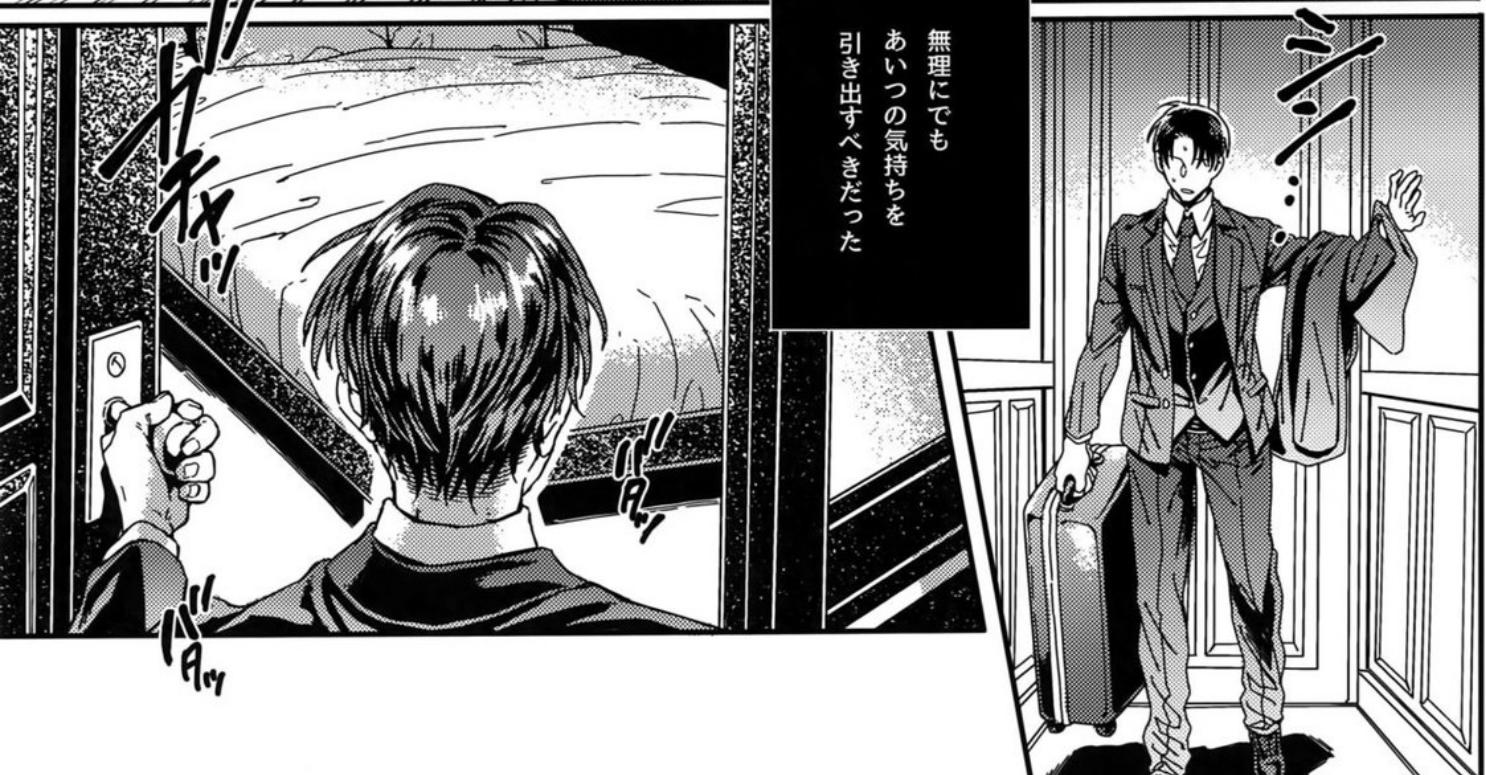
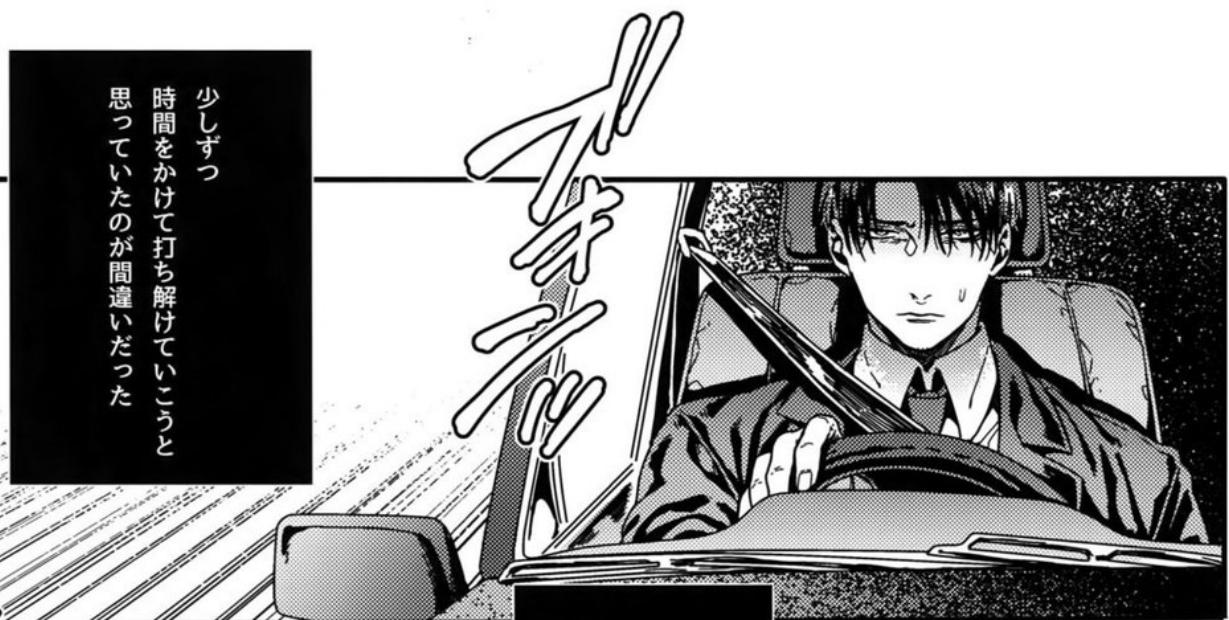


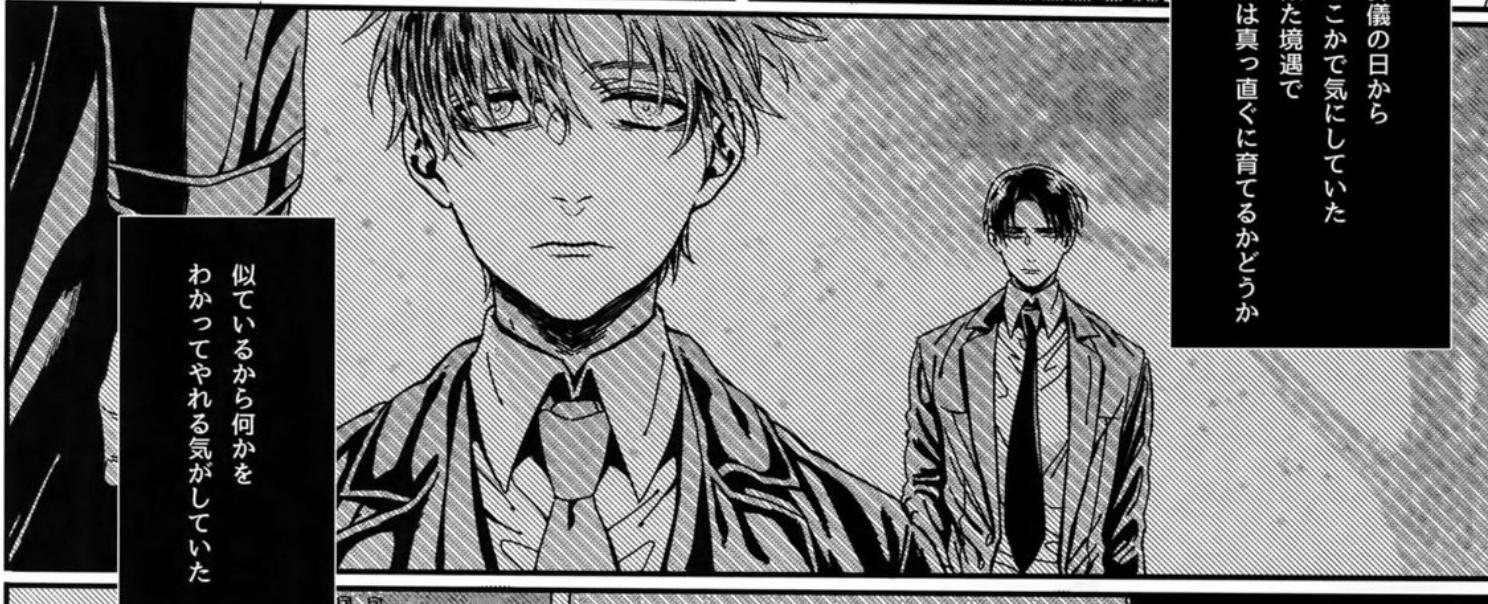


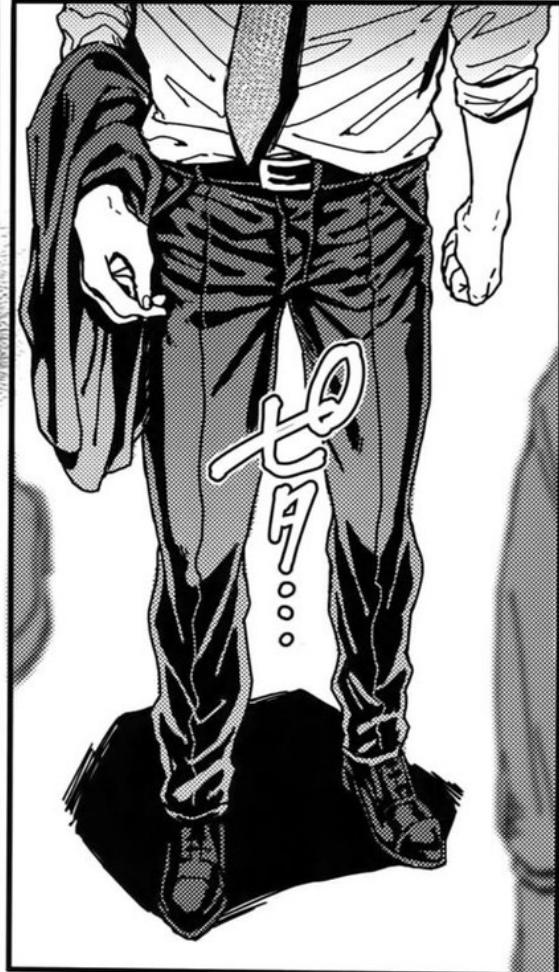
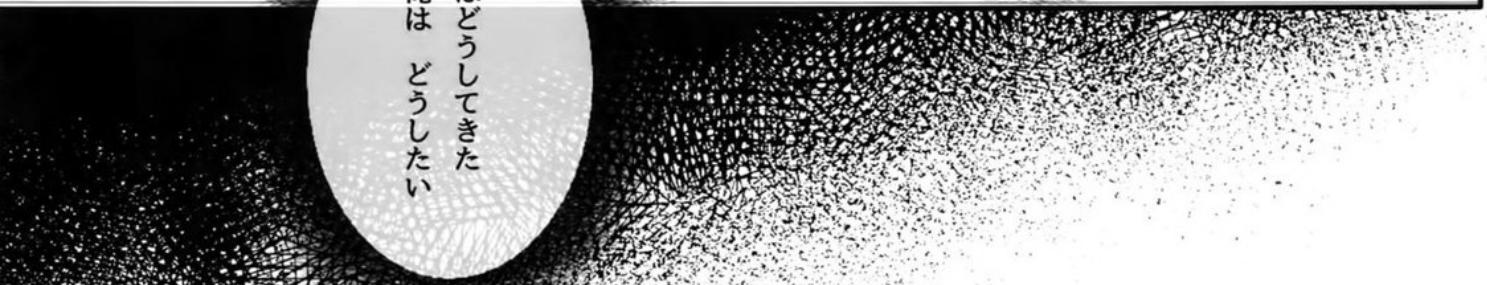




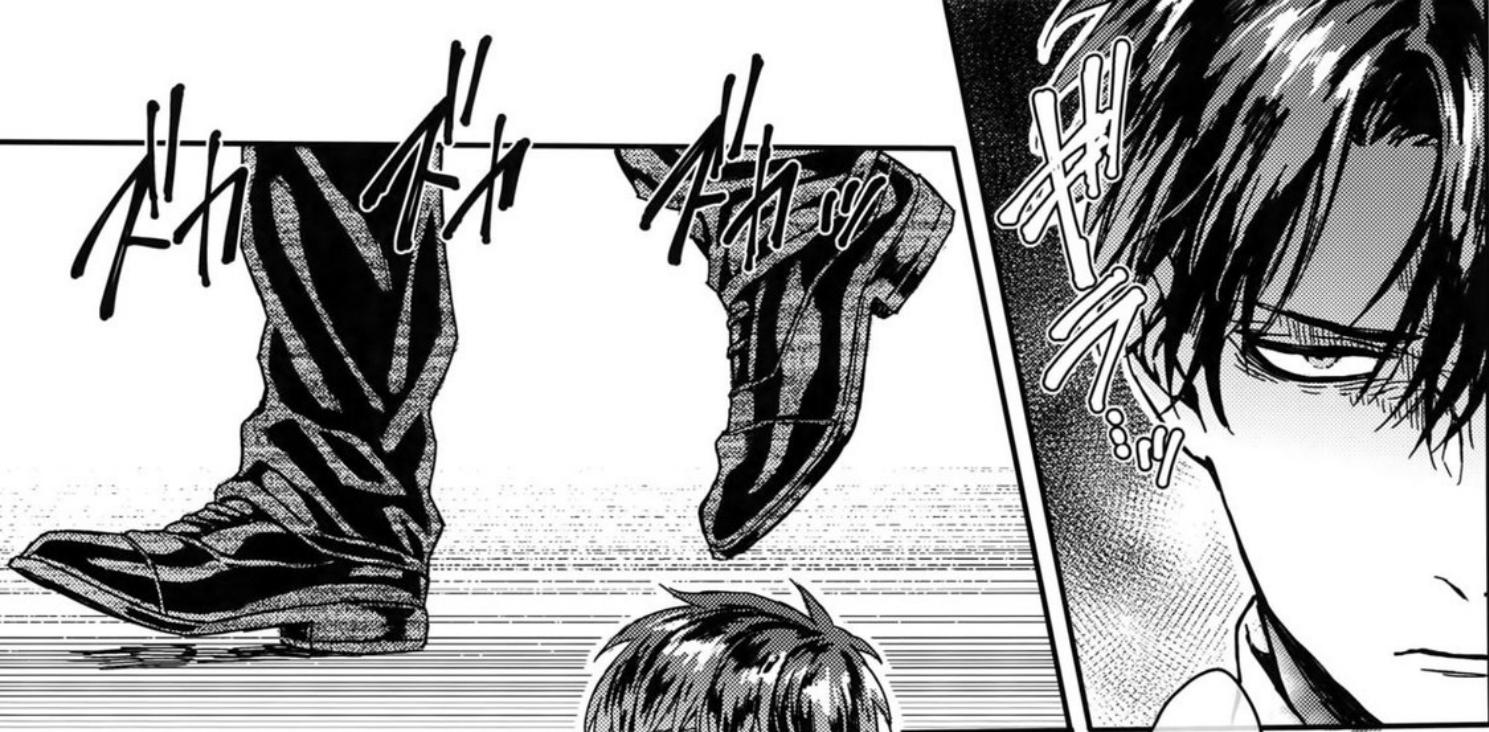


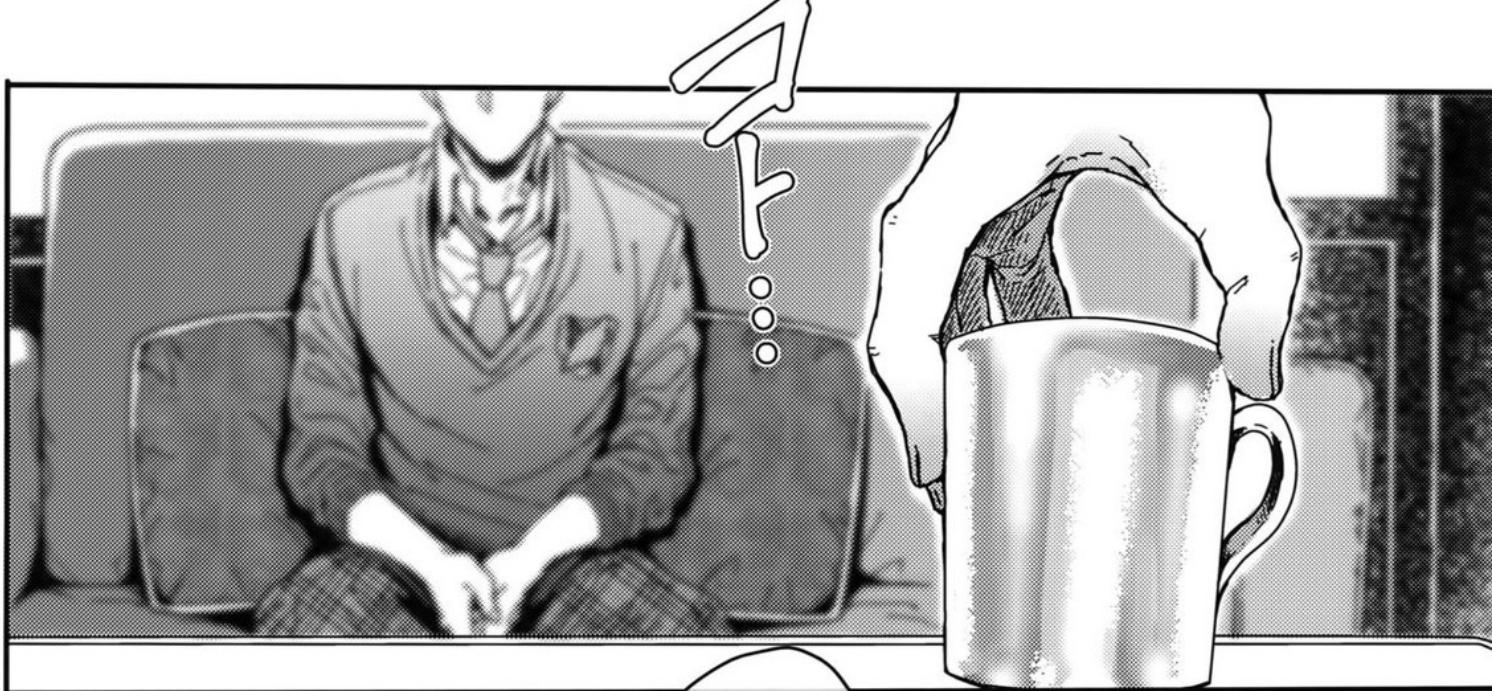


















だから俺は
気持ちを全て行動でぶつけた

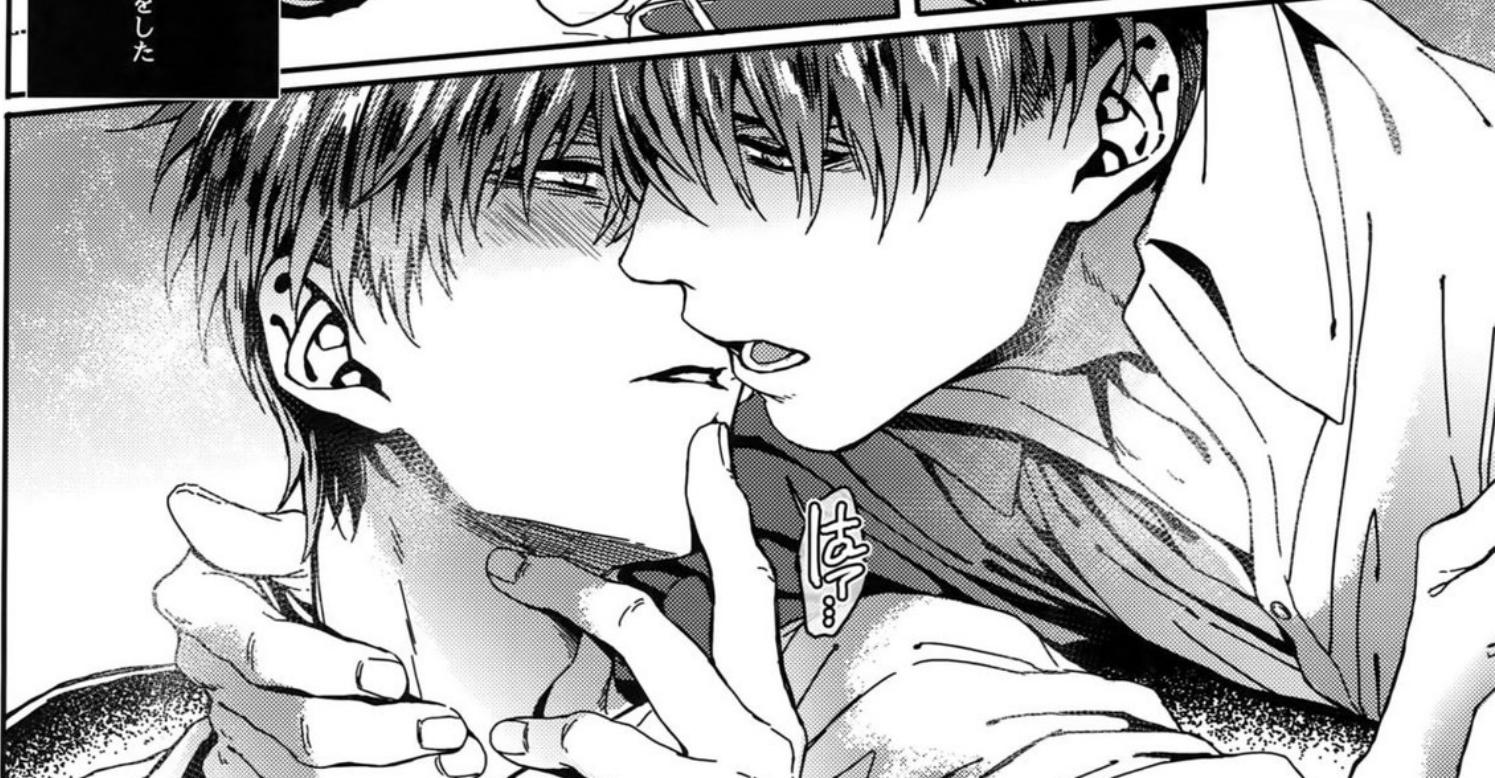
預かった子供をそういう
対象で見ていた背徳感には
気づかないふりをして

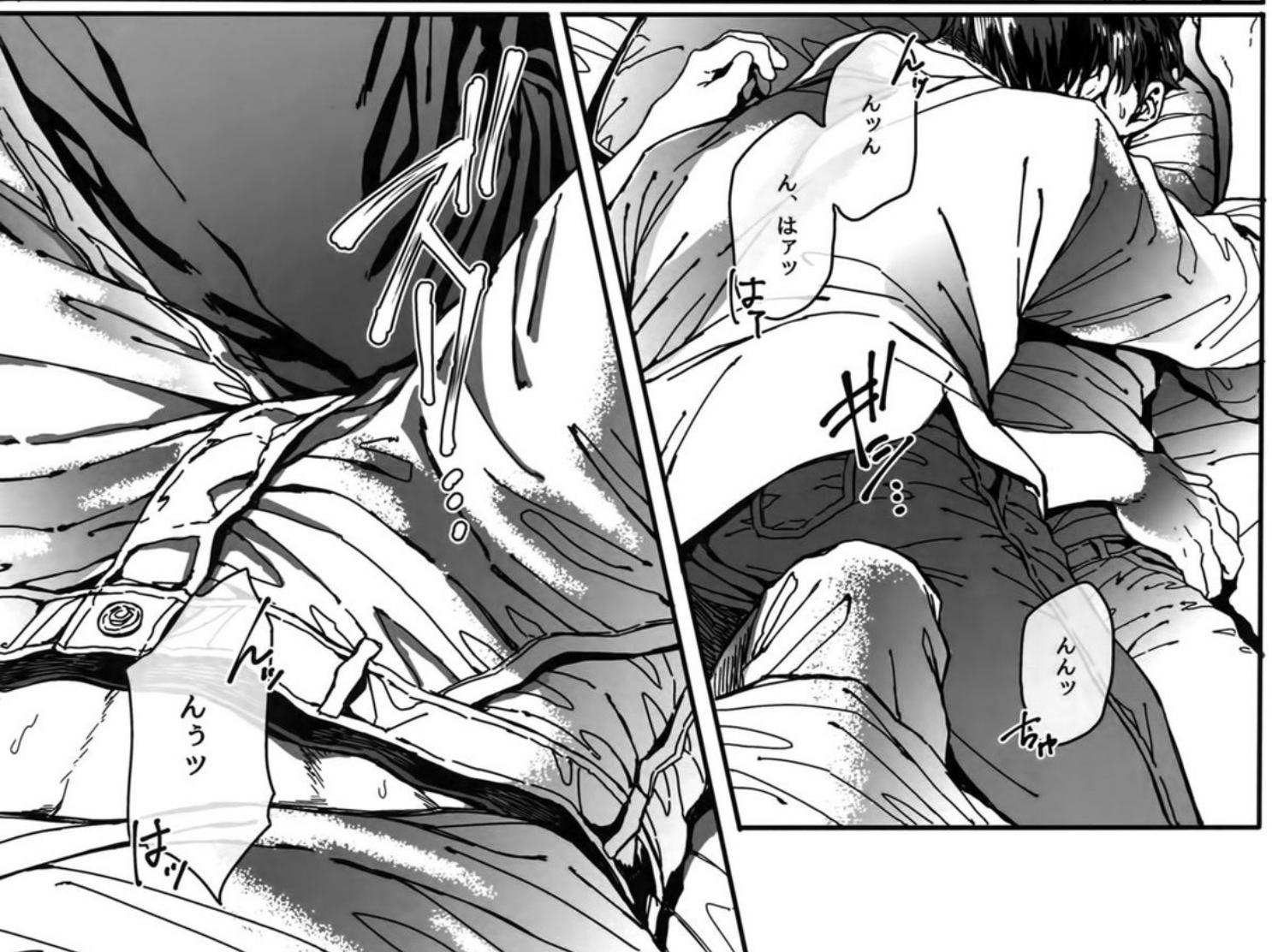


俺たちは普通の速度で
普通の方法では打ち解けられない
からと理由をこじつけて

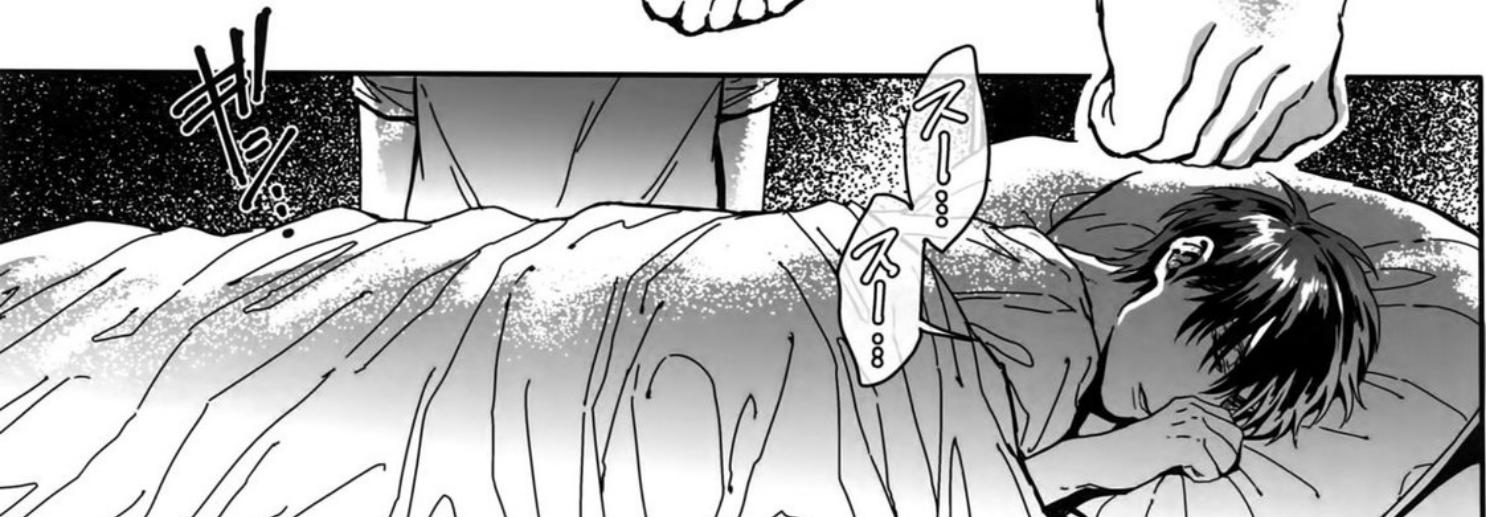


エレン以外なにも見ないふりをした

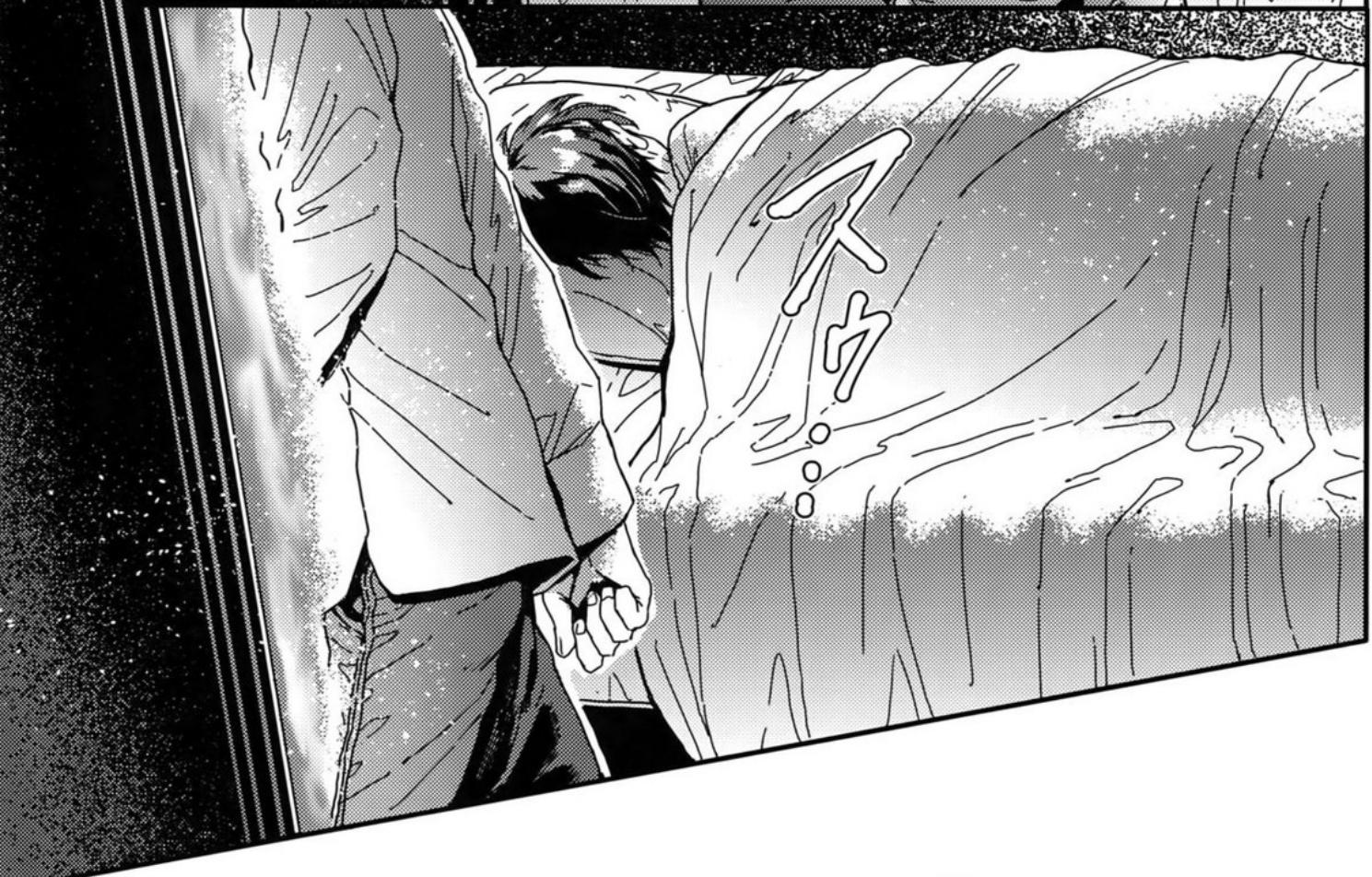








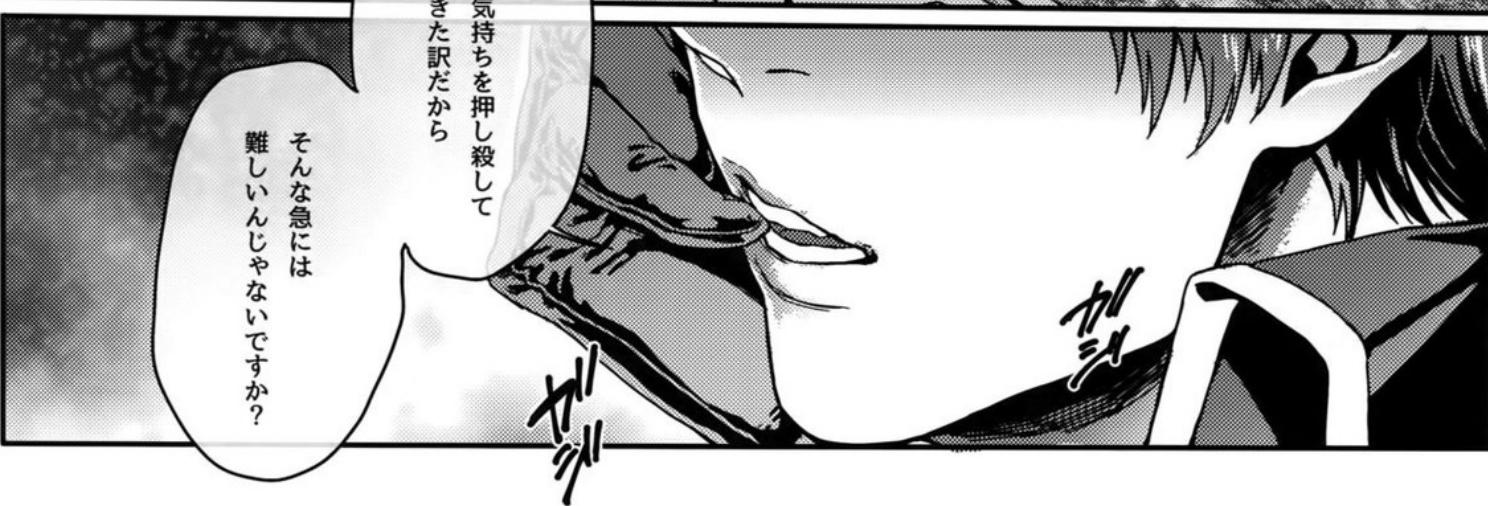
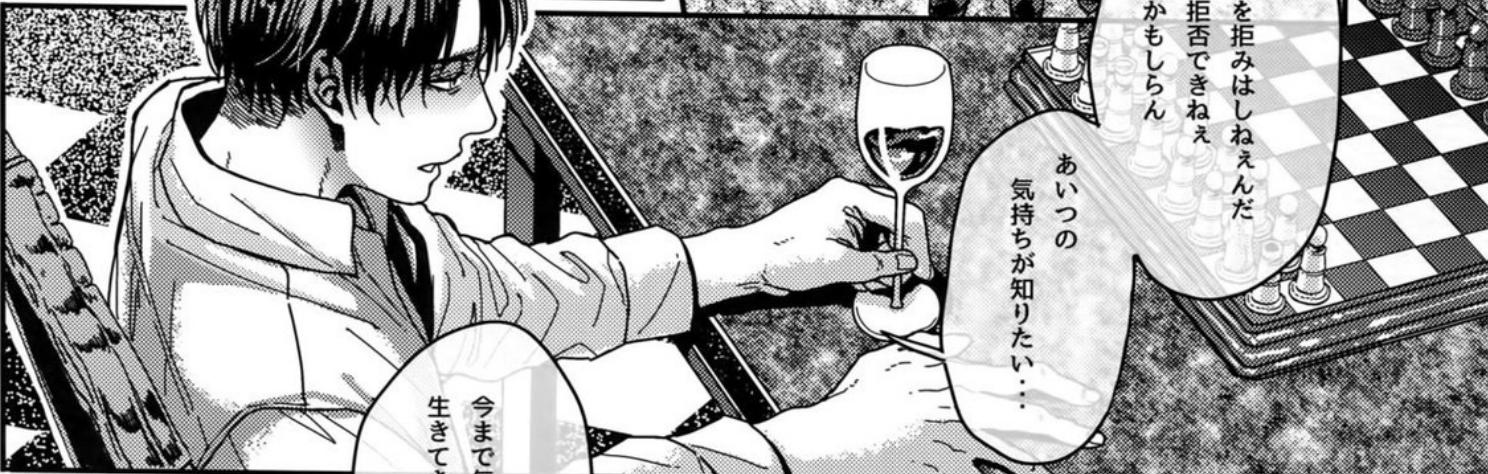




おっさんが

暴走してる…

ああ…
自覚はある…



今まで気持ちを押し殺して
生きてきた訳だから

そんな急には
難しいんじゃないですか？

キスを拒みはしねえんだ
だが拒否できねえ
だけかもしらん

あいつから何かしら
アクションを起こしてくれるのを
待つつもりで居たが…



ああ…

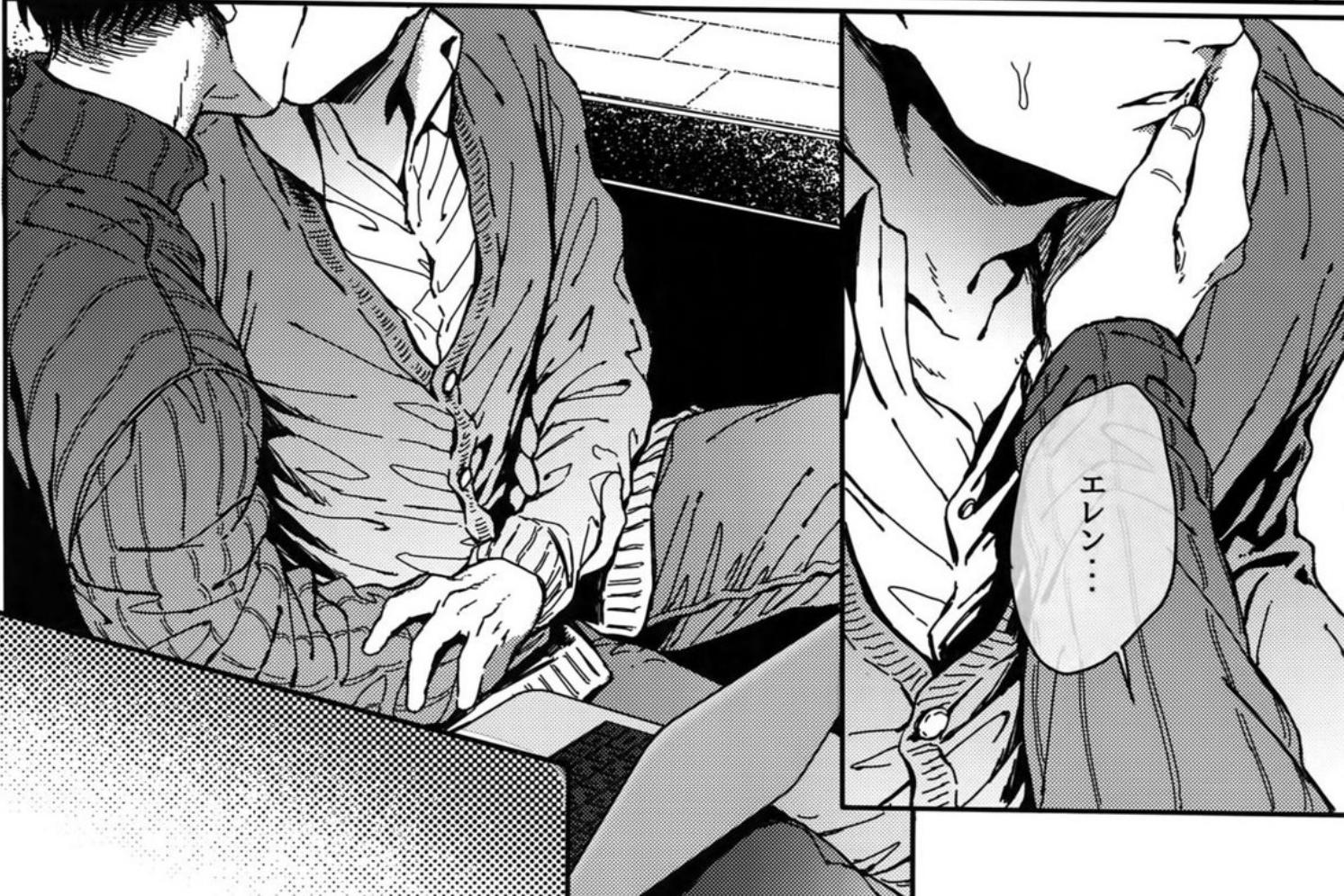
好きだ…







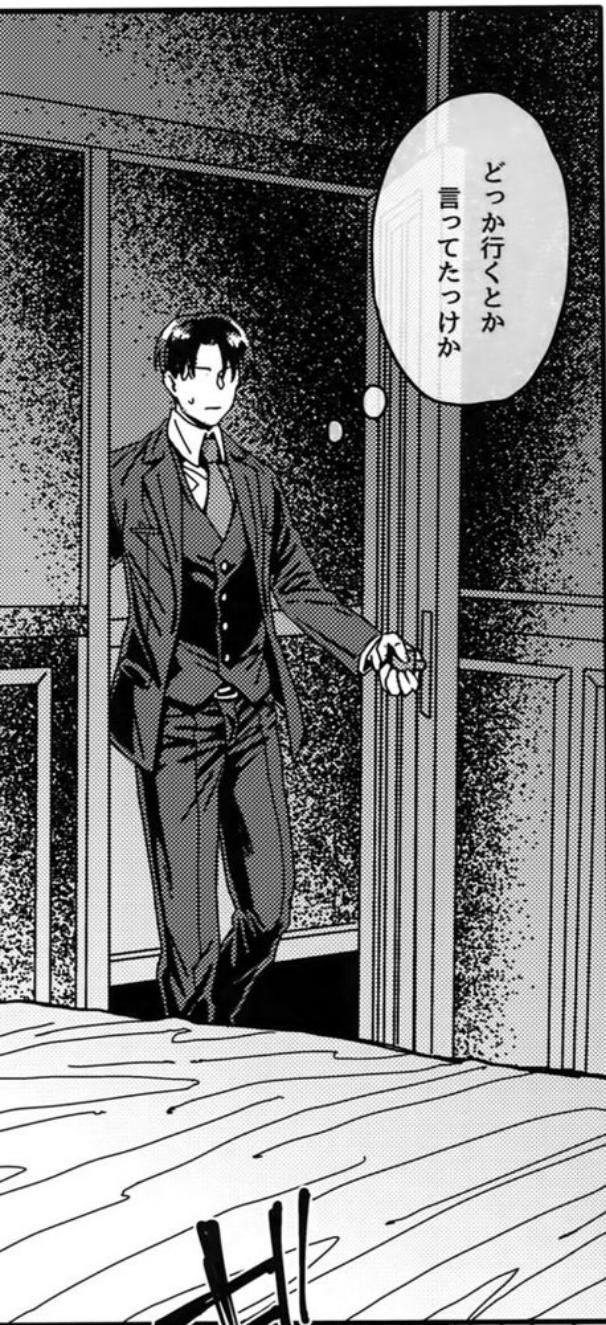






おかえりなさい
リヴァイさん♥







ずっと
兄のようだと思つてました

母さんがよく話してくれた

2年間のアルバムや
母さんの日記も見ました

父さんと母さんが死んでから
何も感じなくなつた
世界に色が無くなつたんです

何もかも現実味が無くて
自分自身を俯瞰で見てる感じ
まるで他人事のような

視界の彩度が上がって
とても眩しくって

でも唯一 リヴァイさんの
ことを考える時だけ
世界に色が見えたんです

どうしても会いたくて
今のお話をお選びました

でも いつかリヴァイさんも
結婚して離れないといけない時が来て
俺 どうすればいいかわからなくて

絶対に嫌われたくない
なんでもいうことを聞こうと思つて

今まで何も学んで
こなかつたから
それしか方法がわからなくて

早く離れないと
いつかまた色の無い世界に
戻るのが耐えられなく
なっちゃうって

俺に気持ちをぶつけてくれる
リヴァイさんが今までより
ずっと眩しくて



は？

ちがうから
残念ですか？

ちがう
あいつはお前じやねえ
俺が知つてる

あいつは
お前じやねえ

あの人
俺と同じ顔だし

言つてました
俺はエレン・イエーガーだつて
俺はお前だつて

俺
あの人みたいに
強い人にはなれません
自分の気持ち一つ
言葉にできない

俺は
あの人代わりには
なれません

ラーメン
ふーラン



あいつはお前の
代わりじゃねえ
どうすれば伝わる

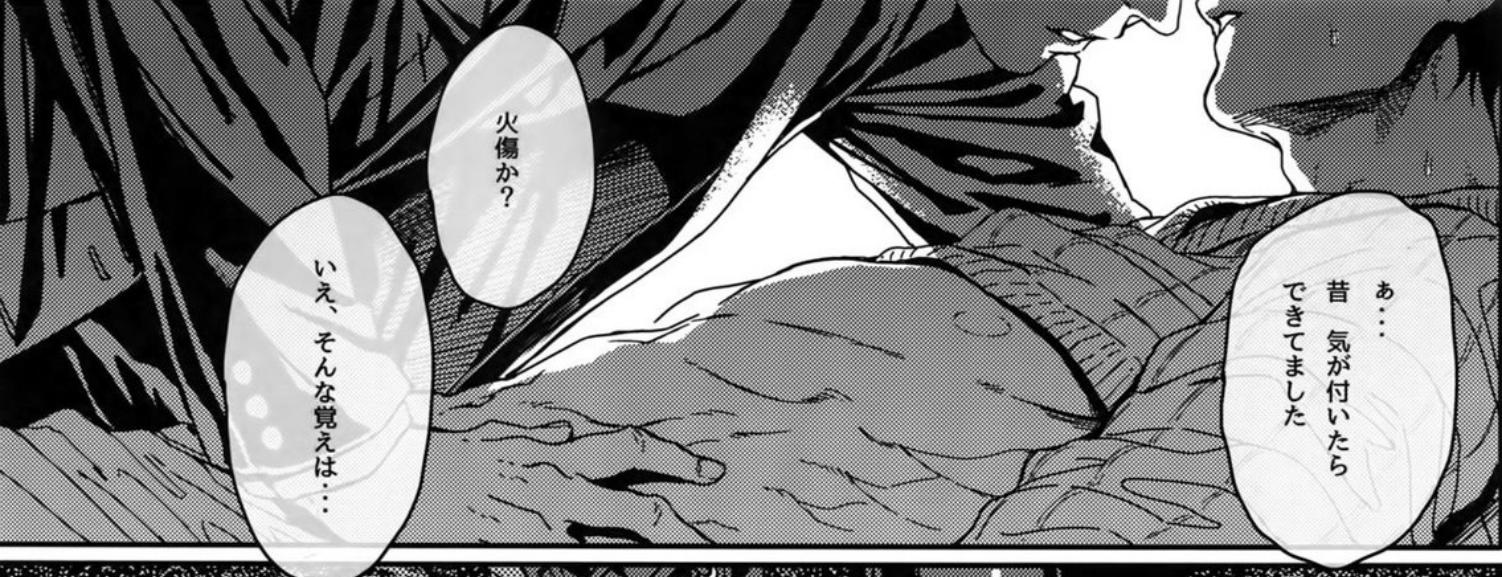
頼むから
自分に自信を持つてくれ
俺はお前がいいんだよ

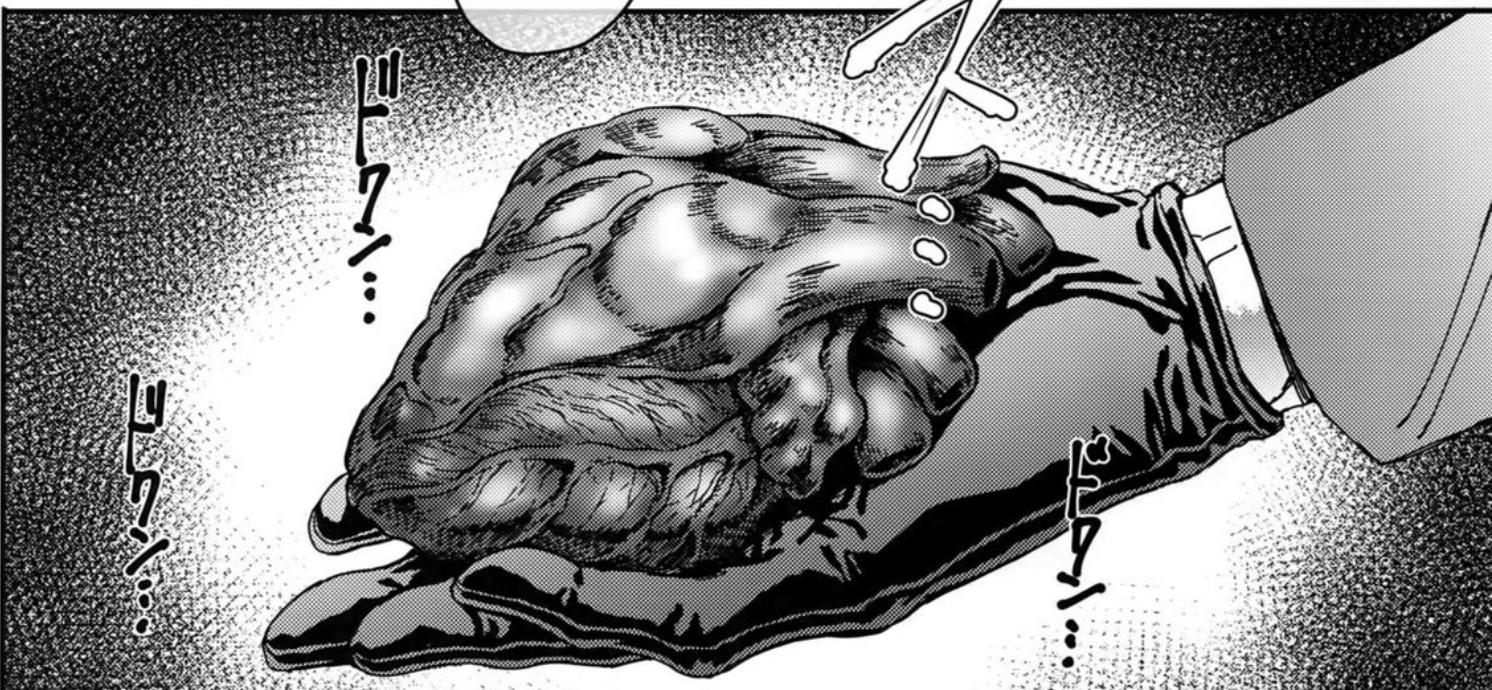
リヴァイさ…

エレン

これ
どうした?

信じてくれ…





正確には

一部ですけどね

持つていき忘れたが故に

半端な俺が残つて

半端なエレンが生まれてしまった

全く持つて
厄介ですよ

取り残された上に愛する人が
自分の事を覚えていない

ほら キングから
渡してもらえますか

ドクン…

ドクン…

忘れ物さえ

しなければ今頃俺も

キングと同じ時間を
過ごせてたかもしれないのに

はあ 俺つていつも
ツメが甘いんですよね

持つていき忘れたが故に

半端な俺が残つて

半端なエレンが生まれてしまった

全く持つて
厄介ですよ

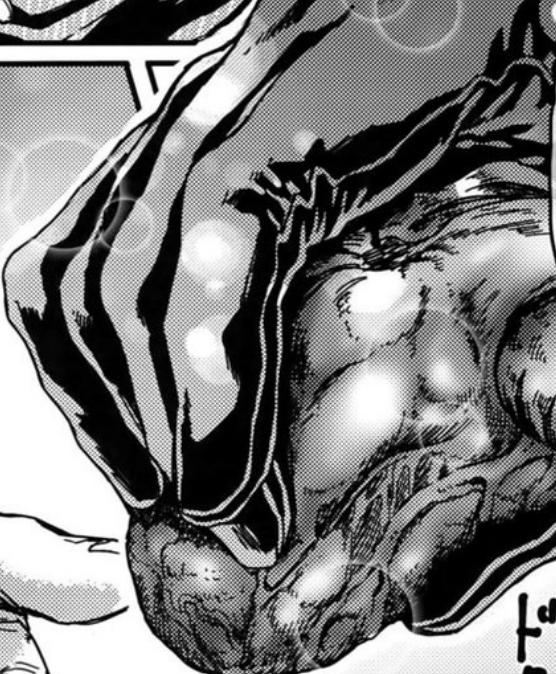
取り残された上に愛する人が
自分の事を覚えていない

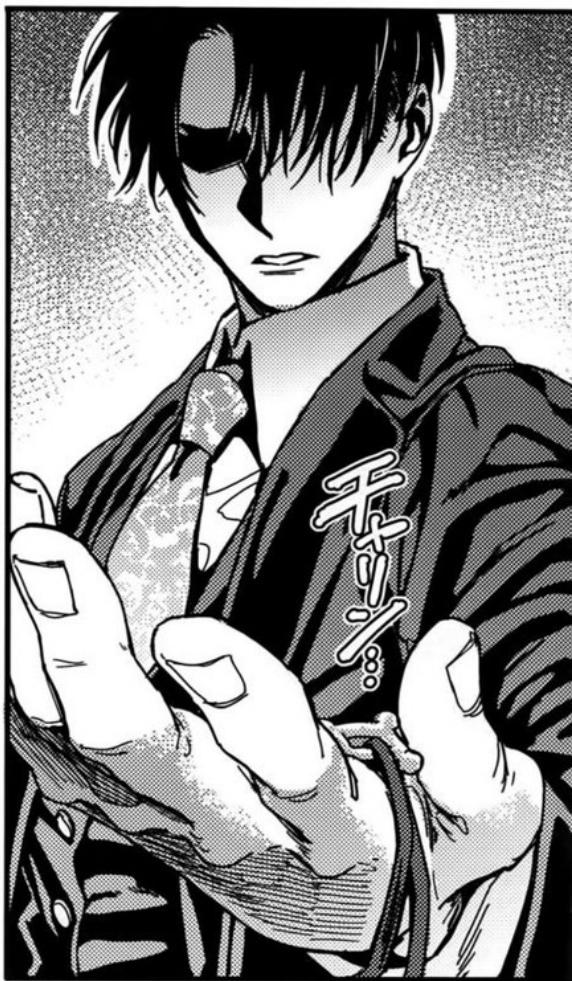
ほら キングから
渡してもらえますか

ドクン…

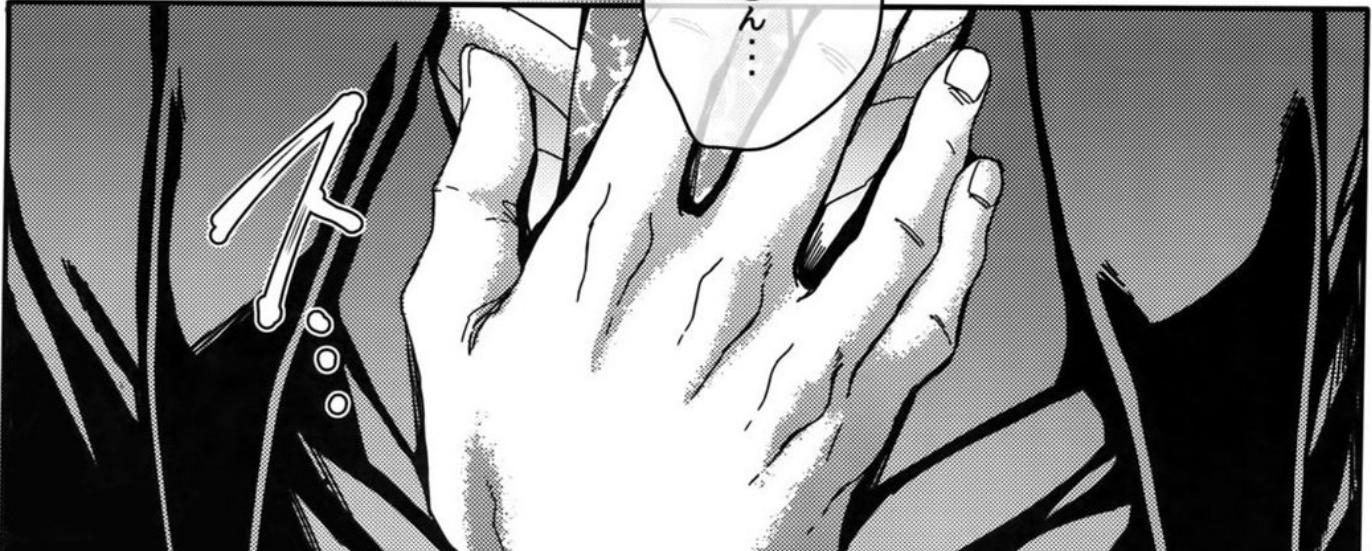
ドクン…

ト...
...

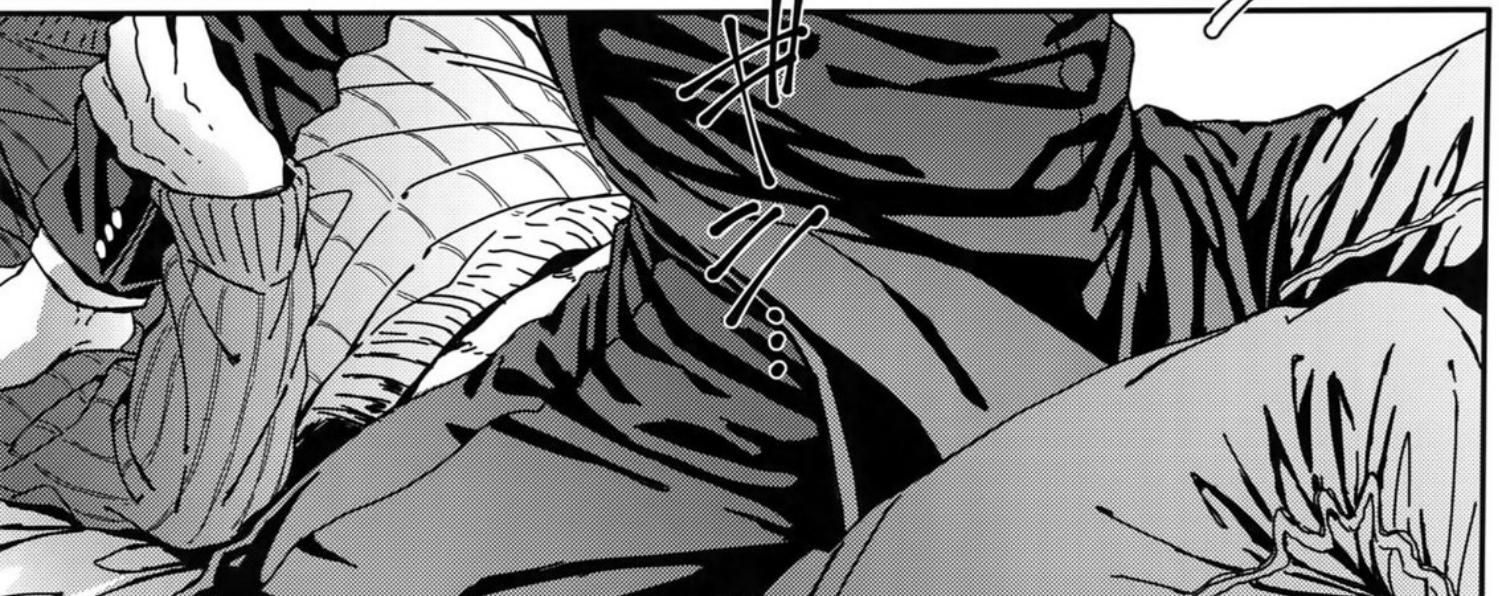








あつい……ツ



今
お前の視界に色はあるか?

はい
すごく
眩しい

そうか

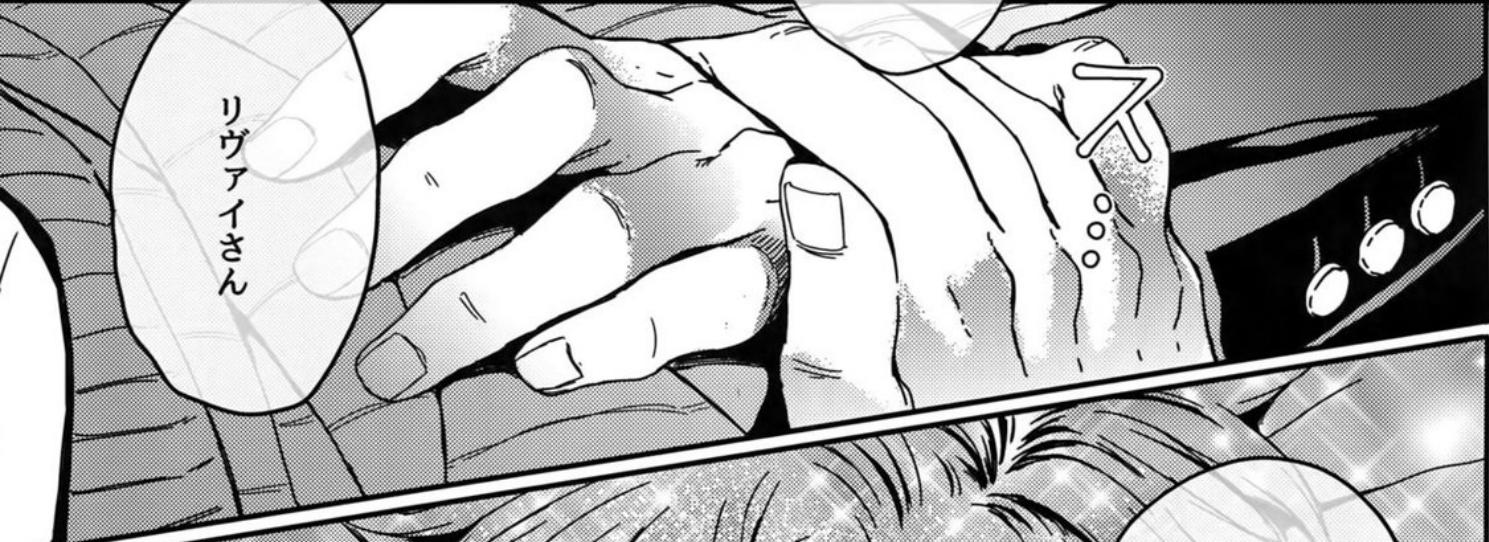
お前の色のある世界に
俺はこの先もずっと居たい

「忘れ物」が戻った心に
触れて感じたい

許されるなら心も
身体もすべて欲しい

なあ
構わねえか?

や
や
や
や





エレン
あついのか？

ん、あつ、
あつい...

俺もだ
あつい

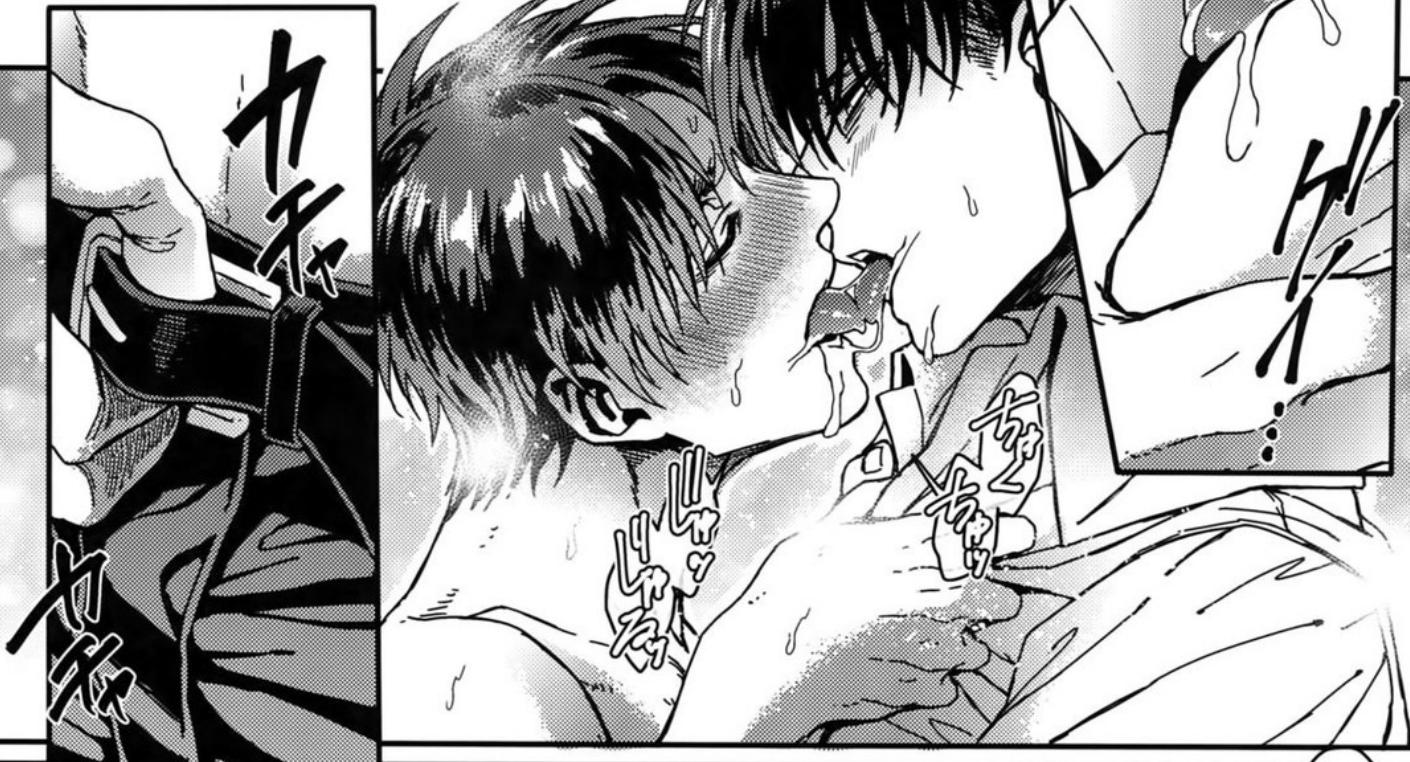
あはあ...ツ
んッん...

ギー...
ギー...

腰
揺れるほど あついか









いいな
もう後戻り
できないぞ



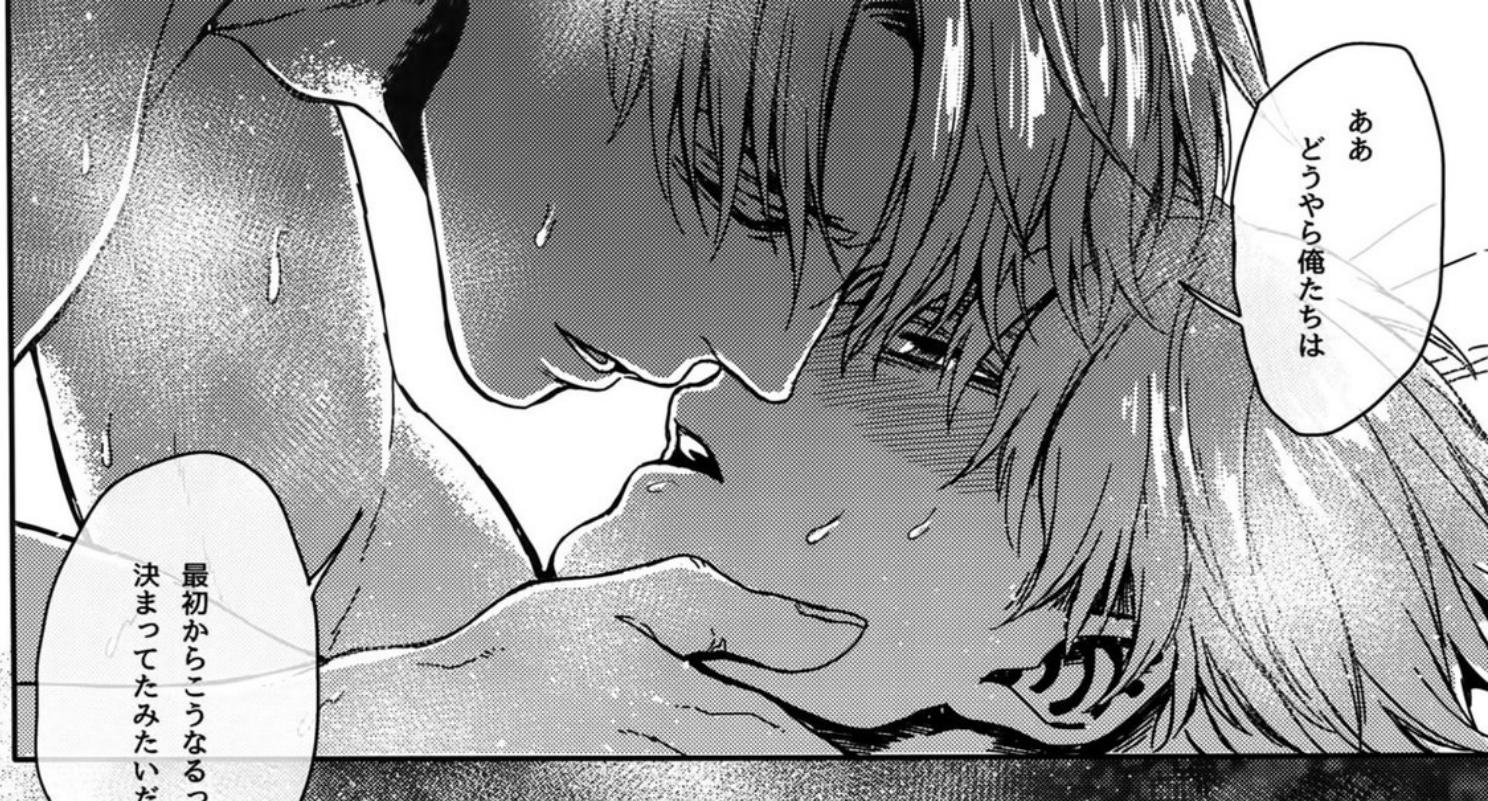




キング



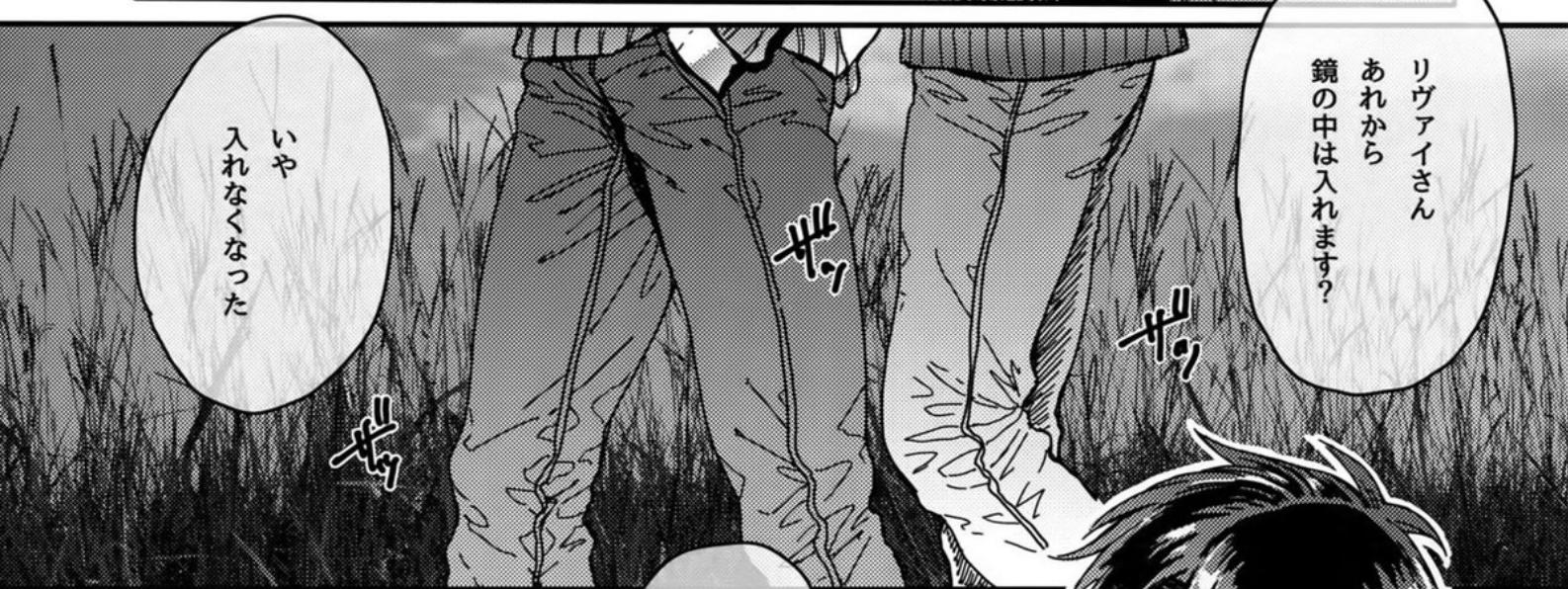




最初からこうなるって
決まつてたみたいだな

ああ
どうやら俺たちは





ねえ
リヴァイさん

今世も
ずっと一緒に
居てくれますか……？

当たり前だろ

ほら
見てみろ

エレン



色がある



GRAND MARNIER PLANET

2016.3.13 END CHIAKI AZUMA

joy.azuma@gmail.com

@0101010101010101

THANKS SUNGROUP CO.LTD.

SHASHIN AC



PRESENTED BY END

本書は非公式ノアンブックです。
無断転載・転売・不正アップロードはご遠慮ください。